

巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」実施報告書

記入日:令和 3年 2月 14日

館名・団体名	大分県立美術館
部署・担当者氏名	学芸企画課 菅野剛宏

1. 開催概要

開催期間

令和 2年 12月 25日(金) ~ 令和 3年 1月 31日(金)

開催日数: 38日

展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約 150 m²

開催の様子 (写真) ※頁数が増えてもかまいません



2. 開催にあたって	
開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）	
令和 2 年 12 月 21 日	展示物搬入
令和 2 年 12 月 22 日 ~ 令和 2 年 12 月 24 日	設営（ 3 人）
令和 2 年 1 月 25 日 ~ 令和 3 年 1 月 31 日	開催
令和 3 年 2 月 1 日 ~ 令和 3 年 2 月 1 日	撤去（ 3 人）
令和 3 年 2 月 3 日	展示物搬出
内容および運営上の工夫があればご記入ください	
<p>・多くの来館者の目に触れやすくするため、当館で開催の企画展出入り口にあたる場所に会場を設定した。</p>	
展示物に対する来場者の反応はどうでしたか	
<p>・美術館の展覧会とは直接関連のない展示ではあったが、ニュース等で話題になることも多いためか、熱心に観覧する人も少なくなかった。</p> <p>・研究内容は難しいが、受賞者の言葉がとても良いといった感想も多かった。</p>	

3. 広報について	
広報方法（チラシ等のデータがあれば、別途添付してください）	
<p>・独自にポスターを作成し、館周辺を中心に掲示した。また、チラシ（6000部）を作成し、関係各所に配布、周知を図った。</p> <p>・館のホームページや広報誌で紹介したほか、外部の情報誌やラジオ等も活用して情報を広めた。</p>	

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館の web にて紹介させていただく予定です。

国立科学博物館巡回展

入場
無料

ノーベル賞を 受賞した 日本の科学者

1949年の湯川秀樹博士から2019年の吉野彰博士まで、科学分野では多くの日本人研究者がノーベル賞を受賞しています。本展は、研究業績はもちろん、幼少期のエピソード等親しみやすい内容を交え、ノーベル賞受賞者についてご紹介いたします。

会 期：2020年12月25日(金)～2021年1月31日(日)

会 場：大分県立美術館 1階 アトリウム



主催：大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 共催：独立行政法人国立科学博物館



掲載している展覧会に関する詳しい情報はOPAMホームページをご覧ください。

HP <http://www.opam.jp> OPAM

f <http://www.facebook.com/opamoita>

〒870-0036 大分市寿町2番1号

Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4530

JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分/大分ICから車で10分

開館時間 10:00-19:00 ※金・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)



OPAM
Oita 大分県立美術館
Prefectural
Art
Museum